| | |
|---|---|
| 事例No. | 2434 |
| 公表年度 | R5 |
| 団体の属性 | その他 |
| 団体名 | 五名活性化協議会 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | 地域活性化 |

| | |
|---|---|
| タグ | ・地域運営組織<br>・関係人口<br>・観光 |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | 地域振興 |

事例内容・タイトル

「五名に根ざした、五名愛に満ちた五名活性化」

出典

平成27年度優良事例表彰一覧

全国過疎地域自立促進連盟 会長賞

香川県東かがわ市

# 五名活性化協議会

## 「五名に根差した、五名愛に満ちた五名活性化」




廃校となった小学校の文化祭を引き継いで実施。地元の人たちの文化祭とプロの演奏会が楽しめる「山びこコンサート」。

### 事例の概要

五名地区は、今なお隣近所で互いに助け合う風土が残っており、少子・高齢化による人口減少についても住民間で危機感を共有していた。そのような中、小学校が廃校となったことを受け、地区を更に盛り上げようと、地域の有志が中心となり、五名活性化協議会を設立し、地域の活性化に取り組んでいる。

毎年お盆時期に開催される「五名ふるさとまつり」は、里帰りした人と地域の人とが交流を深める場になっている。また、廃校となった小学校の文化祭を協議会が引き継ぎ、「山びこコンサート」として開催することで、地区内外との交流人口の拡大につながっている。

更に、「里山活性化プロジェクト」では、里山の整備の際に伐採した木材の利用・販売や、駆除したイノシシをジビエとして販売することで収入を得る手法を確立し、地域活動を持続可能なものとするなど、いつまでも住み続ける環境をつくるには何が必要なのかを地域住民みんなで考えながら、地域の課題解決に取り組んでいる。



五名活性化協議会のみなさん

## 評価のポイント

東かがわ市の五名地区は、昭和の合併以前の旧村であり、平成 26 年現在で 146 世帯 312 人が暮らしている。

平成 13 年に高松市の商店街で開催された展示会で、五名地区の特産品が高い評価を受けたことをきっかけに、女性たちが旧郵便局舎を活用し、「ふるさとの家」の運営を開始した。続いて、平成 17 年の五名小学校の廃校によって住民の間に地区の存続に対する危機感が高まり、連合自治会・ふるさとの家・老人会・山村クラブ・女性部で五名活性化協議会を設立し、分担と連携の上に活動を継続してきた。

中でも、五名３大祭りと呼ばれる「五名ふるさと祭り」（旧盆の夏祭りを盛大にしたイベントで、里帰りした人との交流の場となっている。）、「やまびこコンサート」（廃校となった小学校の文化祭を引き継ぎ、合唱コンサートとして開催。）、「いのしし祭り」（ふるさとの家記念イベントで、猪の丸焼きなどが振る舞われる。）は、五名活性化協議会が中心となって開催する大きな交流イベントである。

このほか、移住者（陶芸家、木工家、イラストレーターなど）が五名地区の観光マップの作成を提案し、完成させるなど、積極的に活動に参加している。また、古民家の改修や獣害の原因となるイノシシを捕獲・解体処理し、ジビエとして販売している。

更に、連合自治会と山村クラブの有志で里山活性化プロジェクトを結成し、居住地の近くの雑木林をイノシシ対策として伐採し、獣害の緩和に資するとともに薪炭の製造も行っており、販売の体制が整いつつある。

このように、山間に散らばる小集落からなる五名地区で、構成員がそれぞれ得意分野を活かした部会活動を行いながら、お互いの意思の疎通をうまく行い、住民の力を結集して 10 年を超える活動を発展的に継続している点が大きく評価される。

また、本事例は、集落ネットワーク圏形成の好例ともなり得る事例でもある。



荒れた里山を整備する「里山活性化プロジェクト」：イノシシやサルなどの獣害対策とともに、伐採した木材の利用・販売で新たなビジネスを創造。



旧郵便局のレトロな木造の建物「ふるさとの家」：毎週土曜日、五名の朝採り野菜、手作り惣菜などを販売。地域内外の交流の場として賑わっている。



ふるさとの家記念イベント&いのしし祭り：毎年 12 月に開催する「ふるさとの家」の周年記念イベント。自然薯の収穫祝いと、イノシシの丸焼きが目玉。

## DATA

### 香川県東かがわ市（ひがしかがわし）

団体名●五名活性化協議会

所在地●〒769-2715　香川県東かがわ市五名1718

連絡先●TEL：0879-29-2832（ふるさとの家内）　FAX：0879-29-2832（ふるさとの家内）
E-mail:matsukata@mx81.tiki.ne.jp

**【交通のご案内】**

自動車●四国横断自動車道　高松自動車道　白鳥大内ＩＣから約40分
四国横断自動車道　徳島自動車道　土成ＩＣから約40分

鉄　道●JR高徳線高松駅から三本松駅まで約30分
三本松駅から路線バスで約40分

飛行機●高松空港からリムジンバスで高松駅まで約40分
JR高徳線高松駅から三本松駅まで約30分
三本松駅から路線バスで約40分




▶国勢調査人口（単位：人）

| 昭和35年 | 昭和55年 | 平成12年 | 平成17年 | 平成22年 |
|---|---|---|---|---|
| 44,428 | 43,110 | 37,760 | 35,929 | 33,625 |

▶人口増減率（単位：%）

| H22/S35 | H22/S55 | H22/H12 | H22/H17 |
|---|---|---|---|
| -24.3 | -22.0 | -11.0 | -6.4 |

▶高齢者・若年者比率（H22 年）（単位：%）

| 高齢者比率（65歳以上） | 若年者比率（15歳以上30歳未満） |
|---|---|
| 33.9 | 10.7 |